



同窓の絆 札幌の地にて

# 夕陽

函館市支部会報

発行所  
夕陽会 函館市支部  
函館市立戸倉中学校  
印刷/株島本印刷



夕陽会のますますの発展を願って

夕陽会函館市支部 支部長 青木昌史  
(昭和五十三年卒)

本年四月に開かれた支部総会において、支部長という大役を仰せつかりました。戸倉中学校に事務局を置いて業務を推進して参ります。今年には日本にとつて未曾有の国難がありました。被災地では多くの会員が厳しい環境の中で奮闘しております。同窓会のお膝元の支部として微力ではあります。夕陽会のために努力して参りますので皆様のご支援をよろしくお願いたします。

さて、今年は十年ぶりに夕陽会総会・大懇親会が札幌の地、札幌パークホテルで開催されました。大懇親会には五百八十名の参加があり、盛会の内に滞りなく終了することができました。函館市支部も百名を超える参加がありました。公務多忙の中、遠路を参加いただきました関係各位、会員の皆様には心より感謝申し上げます。また、懇親会に先駆けて行われた全国支部長・幹事長会議の中で岩手支部の田面木支部長より、先の東日本大震災での岩手県内の被災状況についての説明と義援金へのお礼の言葉がありました。避難所となつている学校では地震発生から一日も自宅に戻ることなく避難所の住民のお世話とその中で子ども達の教育を支え続けている会員の様子などの説明があり、改めて現地の会員の皆様のご苦労を肌で感じました。函館市支部といふ思ひでも何とかお役に立ちたいという思いで大変短い期間でしたが、義援金の取り組みを行いました。皆様から寄せられました善意は、五百七十八口にもなり、本部を通じて宮城、岩手両支部へお渡しいたしました。会員各位のご厚情に改めて感謝申し上げます。詳しくは七月に配布いたしました本部の会報をもってご報告とさせていただきます。今回の札幌での会を通して感じましたことは、同窓の絆の強さと言うことであります。会長も

会報の中で触れていましたが、岩手の支部長も同様の思いで参加をいたしました。また、微力ながら一緒に手伝いをさせていただく中で札幌支部の皆様も同じ思いであったと確信しております。北海道教育大学の本間学長の講演にもありましたが、母校は大いなる道へ向かつて舵を切りました。先日、会報原稿の依頼のため新会員を訪ねました。銀行の窓口ではつらつとお仕事をしている姿に母校の変わりゆく姿を実感いたしました。紹介いただいた母校のキャリアセンターの佐藤さんにお礼をかねて、お話を伺ってきました。新課程の卒業生を二回送り出していますが、出口で大変な苦労をしているようです。特に、リーマンショック以来、就職状況が思わしくなく、今年などは、夏休みも相談活動でキャリアセンターも多忙を極めていたとのことでした。会社へのエントリーは六十件を目標として取り組んでいるそうです。面接で必ず聞かれる質問が「教育大なのになぜ教員をめざさないのか。」これを理解してもらうことがとても大変であるということでした。専攻についても情報科学とか環境科学など文系とも理系ともとれる内容があり、学生本人も就職先を選ぶ上で大変苦慮しているとのことでした。学生は真面目で、就職した後も評判はよいとのことでした。この二年間は、公務員や教員の試験は準備も大変であり、学年が進むにつれて数が減っていく傾向にあったのですが、民間への就職が厳しい現実もあり、少し盛り返しているようです。母校は大きく変わろうとしております。それは、函館支部も同様です。変革の時だからこそ不易と流行をしつかりと見据えながら、前支部長の碇幸信氏の思いを受け継いでまいります。

### 地域と共に歩む学校



函館市立  
大船小学校長

新濱美喜子  
(昭和五十四年生)

本校は、多くの先人達の教育にかける熱意により、明治十三年に熊泊小学校として開校、以後、児童数の減少などに伴い近隣校との統合などを含め、九度名称を変更し現在にいたっております。その間協力を惜しまない保護者の皆様やよき理解者である地域の多くの方々に支えられてまいりました。

目の前に広がる雄大な太平洋。そして、風に運ばれる潮の香りに、何故か心安らぐ懐かしさを感じております。

昆布漁の盛んな南茅部地区にある本校児童の大半は、漁期になると家業の昆布

函館市立潮光中学校は、背後には端正な姿の釜谷富士と緑豊かな丘陵地帯、目前には朝日に煌めく海、津軽海峡を配し豊かな自然に囲まれた学校です。昭和二十七年に戸井村立潮光中学校として開校し、本年度で五十九年目を迎えました。三千名を超える卒業生を輩出している地域の学校でもあります。現校舎は、平成九年に落成し、多目的ホールやコンピュータ室等、施設・設備の整った一際目を引く素晴らしい校舎です。現在は、少子化の影響から、各学年一学級、特別支援学級一学級の計四学級、全校生徒四

### 初心を忘れずに



函館市立  
潮光中学校長

工藤 勉  
(昭和五十六年生)

漁の仕事は早朝から手伝います。親の働く姿を見て、共に仕事をして汗を流し、家族の協力の在り方や働くことの大切さを理解している、素直で心の優しい子どもたちです。

さて、この四ヶ月間で、大船小学校が地域に根付いている学校だということが大変よく分かりました。校長先生、うちの学校はどうだい。いい子どもたちでしょう。うちの学校はいい学校でしょう。と校長に学校自慢をする地域の方々から、学校に対する愛情と思い入れの強さがひしひしと伝わってきます。保護者の皆様や地域の方々の方に寄せられている愛情と期待に応えることができるよう、地域と共に歩む信頼される学校づくりに、より一層努力をして参ります。

今後とも夕陽会の皆様のご指導、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

## 新たな気持ちで

十五名の学校ですが、生徒は落ち着いた生活の中で、学習や部活動に熱心に取り組む、成果を上げていくところです。

着任して間もなく、関係する地域の皆様にお会いしましたが、学校を大切にしている様々な思いや願いを感じることができました。この思いを大切にしながら、初心を忘れずに、学校教育目標「求め高め自らを拓く」の達成に向け、生徒一人ひとりに「生きる力」を育み、個性の伸長を図り、豊かな人間性を形成するために、学校・家庭・地域社会が一体となった取り組みを実践してまいりたいと思っております。

教職員一丸となって、保護者や地域の方々々に信頼される開かれた学校づくりに取り組んでまいります。率先垂範して取り組んでまいります。今後とも、夕陽会の皆様には、ご指導とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

### 夕陽の絆



函館市立  
中島小学校教頭

一戸 裕之  
(昭和五十八年生)

夕陽会後志支部、渡島支部でお世話になり、これまで以上に「夕陽の絆」を強く感じながら四年ぶりに函館支部に戻ることができました。そして、箱館戦争での千代ヶ岡陣屋跡に開校し、当時、東北北海道随一の施設と言われた歴史と伝統のある中島小学校に着任し、四ヶ月が過ぎようとしています。この間、たくさんの方の同窓の方と接することができ、当時を懐かしんで話しておられる様子に、本校が地域とともに歩み、深く愛されてきた

### 日新小の教育のために



函館市立  
日新小学校教頭

近江 辰仁  
(昭和六十三年卒)

四月に函館市立日新小学校へ赴任いたしました。日新小学校は創立百三十年をこえる歴史と伝統ある学校です。地区には旧戸井線跡があり、アーチ橋のような歴史的建造物が残っていたり、学校には昔の様子を伺える資料室があるなど、社会科好きにとってはとても魅力ある地域です。

子供たちは、赴任したばかりの私へもいつも「教頭先生、おはようございます」と声をかけてくれる、明るく、素直で、

ことをとても誇らしく感じております。二学期に入り、二名の教育実習生を受け入れることになりました。一名は本校の卒業生である私学生。もう一名は、北海道教育大学函館校の学生で、教職員の指導の下で毎日遅くまで熱心に頑張っております。函館校が「教員養成課程」から「人間地域科学課程」に改編され、母校から教員を目指す学生がいなくなるのではと寂しく思っていました。先日来校された教育実習担当の方から、教員免許の取得を希望する学生が増えていることを聞き、ほっとしているところでありました。これからも夕陽の絆のもとに、たくさんの方々が教師を目指して巣立っていきけるように、日々の教育活動を教職員と一丸となって進めていくことが、これまでお世話になった諸先輩方への恩返しだと考えております。

今後とも、夕陽会の皆様のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

礼儀正しい子供ばかりです。児童数は減少傾向にありますが、子供たちは学習にはとても意欲的であり、この子供たちのやる気に応えるべくチーム日新の一員として日々邁進しているところです。

新任地での慣れない仕事は、校長先生のご配慮と先生方のご協力により進んでいるところです。また、時折折入る学習支援のための授業や補欠授業などで、子供たちや先生方と関わる中からも教頭としてできることや役割を少しずつ教えてもらっています。

この数ヶ月をふり返りますと、気がつけば一学期も瞬く間に終了してしまいました。夕陽会におかれましては、春には私のような者にも激励をいただいたことを本当に心強く思い、深く感謝しております。これからの残りの学期は、日新小学校重点の合言葉「元氣 笑顔 あいさつ」のもとに職責を果たして参ります。今後とも、夕陽会会員の皆様にはご指導とご支援をよろしくお願いいたします。

# 新会員になつて

## 責任の重さを感じながら



函館商工信用組合  
本店営業部  
**宝福 歩**  
(平成二十三年卒)

平成二十三年三月、北海道教育大学函館校を卒業し、同年四月から函館商工信用組合本店営業部にて、社会人として新たなスタートを切ることとなりました。現在、窓口でお客様と実際に接しながら、業務を覚え、奮闘する毎日です。入組を決める前までは、自分が金融業界に携わることになるとは、思ってもいませんでした。「お客様の大切なお金を取り扱う仕事」頭ではわかっていたことですが、実際に働いてみて、その責任の重さを身に染みて感じております。

初めのころは、お客様への対応がうまくできないことや、自分の失敗でお客様に迷惑をおかけすることも多く、落ち込む毎日でした。だれでも感じることもかもしませんが、自分が何もできないという無力感でいっぱいだったと思います。そんな時に私を支えてくれたのは、大学で出会った仲間の頑張る姿でした。みんなの頑張る様子や仕事の話や聞く度に自分だけじゃないという気持ちになれました。また、先輩方の熱心な指導により、常に前向きに働くことができました。

まだまだ毎日の仕事をこなすだけで精いっぱいですが、今後は目標を持って仕事をすることが課題だと感じています。「私らしい接客」を目指して、これから窓口業務に取り組み、組織を担っていく存在へと成長するため、日々精進していきたいです。

## この春からの思い



函館工業高等専門学校  
総務課総務事務ルーラ  
**佐藤 光帆**  
(平成二十三年卒)

この春、北海道教育大学函館校を卒業し、函館工業高等専門学校の事務職員として勤務しています。北教大再編成後、二期生となる私は、教師ではなく学校職員として教育に携わる道を選びました。学校は教師がいてこそその場所ですが、事務職員として教育や研究の発展を支えていくことに魅力を感じています。

現在は、図書館事務を担当しています。司書の資格を持っておらず、日々手探りの状態で進んでいます。採用されてから四ヶ月経つても、失敗続きで毎日のように自分の欠点の多さを責めています。学校職員として、また一人の社会人として未熟な点が多々あり、周りの皆様にご迷惑をかけてばかりいます。少しでも早く貢献できるように、一つひとつ欠点をなくし、成長していきたいと思えます。

今春は、大学卒業と時期を同じくして、東日本大震災が発生しました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。震災があった日、大学の研究室で友人二人と集まっていた日、テレビで各地の様子が明らかに不安を感じ、テレビで各地の様子が薄れていくようでした。これからどうなるのだろうか、という言葉しか口にできませんでしたが、函館高専でも学生が被災地でボランティアを行ったりしています。私もできることを継続的に進めていきたいと思えます。一日も早い復興をお祈りしています。

## 子ども達と共に



函館市立  
中の沢小学校  
**車無田 恵**  
(平成二十一年卒)

平成二十一年三月に北海道教育大学函館校を卒業し、二年間の期限付き教諭を経て、四月より函館市立中の沢小学校に赴任しました。現在は、三年生三十名の担任をしています。明るく元気いっばいな子ども達と楽しく充実した日々を過ごしています。

あつという間に一学期が過ぎました。これまでは、小規模校だったので、初めて三十人を超える人数のクラスの担任をすることになり、不安と期待でいっぱいでした。学級経営や学習指導など様々なことで戸惑い、思い悩むこともありました。教師という仕事の責任の重さと難しさを改めて感じ、自分の力不足を痛感しました。そんな時、頼りになる職場の先生方に温かい励ましの言葉やアドバイスを頂き、多くのことを学ぶことができ、とても感謝しています。そして何より、目の前の子ども達の存在に支えられています。子ども達の笑顔を見ると、どんなことでも乗り越えられる気持ちになり、教師になれたことを本当に嬉しく思っています。

まだまだ未熟者の私ですが、子ども達の成長のために、全力で児童理解と教材研究に取り組んでいます。これからも謙虚な姿勢と常に学ぶ気持ちを忘れず、子ども達と共に成長する教師であり続けたいと思えます。

## 一歩一歩確かな成長を



函館市立  
戸倉中学校  
**瀧澤 佑太**  
(平成二十年卒)

平成二十年三月、北海道教育大学函館校を卒業し、いつの間にか三年の歳月が過ぎ去りました。この度、念願叶い正採用教員として函館市立戸倉中学校で教壇に立ち、一学年の理科、全学年の技術を通して生徒達に関わっています。

一学期は長いようで短く、怒涛の流れで過ぎ去っていきました。初めての環境初めて関わる生徒達に囲まれながら、期待と不安が入り交じった状態での教員生活のスタートでしたが、多くの先輩方や生徒達、保護者の方々に支えられながら日々研鑽を積ませて頂いています。

授業においては、生徒の持つ様々な力、特に「自然現象に興味を持ち、疑問を持つこと、そのことを通して現象について考える力」をいかに伸ばせるかを考えながら授業づくりに励んでいます。自身の知識や経験の無さ故に生徒が充実感を持つことができる授業づくりへの難しさを感じながらの毎日ですが、様々なことにチャレンジをしながら、自分を高め生徒達へ還元していきたいと考えています。

教員生活の中で日々悩みが尽きませんが、一歩一歩、自分の出来ることを全力で行いながら成長していきたいと思えます。その中で夕陽会の諸先輩方に支えて頂くことが沢山ありますが、感謝しながら教員生活をしていく所存です。これからもご指導、ご鞭撻の程よろしくお願致します。

- 一、本部との連携を深め、会員親睦の充実に努める。
- 二、幹事と若手会員を核に、「創造し行動する夕陽会」の浸透に努める。
- 三、会員の慶弔に対し、適切に対処する。
- 四、会員の動向を的確にとらえ、組織強化ならびに会計の効率化を図る。
- 五、広報活動の充実を図り、地域に貢献できる組織を目指す。

母校開学の精神「土地墾闢・人民蕃殖」の精神を確かめ、支部会員の資質向上と親睦の和を深めることを目指した会務の運営に努める。  
あわせて夕陽会の充実発展に寄与する。

# 平成23年度 支部 運営方針

- 一、支部役員
- 二、主な業務内容
  - 一、支部総会
  - 二、受賞祝賀会
  - 三、支部会報の発行
  - 四、新入・転入会員激励会
  - 五、役員会、学校幹事会
  - 六、本部事業への協力(総会・懇親会・その他)
  - 七、会費(本部会費・支部会費)の集約
  - 八、特別業務
    - 結婚会員へのご祝儀・祝電
    - 逝去会員へのご香典・弔電
    - 受賞会員、昇任会員への祝電

○顧問

氏名	卒業年次	所属
元支部長 山尾正	23年卒	
元支部長 川島孝夫	31年卒	
元支部長 藤谷利春	32年卒	
元支部長 板東忠康	33年卒	
元支部長 池上信廣	37年卒	
元支部長 斉藤正宏	39年卒	
元支部長 寺岡昭治	42年卒	
元支部長 小山内武弘	42年卒	
元支部長 伊藤皓嗣	44年卒	
元支部長 三島俊博	47年卒	
前支部長 碓幸信	49年卒	
小学校長 伊勢昭	49年卒	
中学校長 藤井壽夫	49年卒	

○役員

役職	氏名	卒業年次	所属
支部長	青木昌史	53年卒	函館市立戸倉中学校
副支部長	三島千春	54年卒	函館市立日吉が丘小学校
監査	永井貴之	63年卒	函館市教育委員会
幹事長	真崎不二彦	28年卒	函館護国神社司
副幹事長	幕田真二	56年卒	函館市立青柳小学校
佐々木理之	58年卒	函館市立の場中学校	
佐々木聡	63年卒	函館市立戸倉中学校	
佐藤美加	平元年卒	函館市立亀尾中学校	
副幹事長	内木竜	平四年卒	函館市立戸倉中学校

## 平成22年度 一般会計決算書

1. 収入の部

項目	22年度予算額	22年度決算額	増減(△)	摘要
会費	790,000	802,000	12,000	802名×1,000円
年会費	34,000	43,000	9,000	年次会員
繰越金	160,437	160,437	0	
繰入金	100,000	100,000	0	前納会計から
雑収入	163	465	302	利子
合計	1,084,600	1,105,902	21,302	

2. 支出の部

項目	22年度予算額	22年度決算額	増減(△)	摘要
事務費	160,000	148,759	△ 11,241	コピー代、用紙、封筒
事業費	440,000	448,520	8,520	会報、広告代
会議費	200,000	207,109	7,109	幹事・新会員懇親会等
慶弔費	200,000	122,790	△ 77,210	祝電、結婚祝い金、弔電、香典
振込手数料	55,000	53,200	△ 1,800	各種会費等振込手数料
雑費	9,600	0	△ 9,600	
予備費	20,000	0	△ 20,000	
合計	1,084,600	980,378	△ 104,222	

〈収支決算〉

収入	支出	残高
1,105,902	980,378	125,524

## 平成23年度 一般会計予算書案

1. 収入の部

項目	前年度決算額	本年度予算額	増減(△)	摘要
会費	790,000	785,000	△ 5,000	785名×1,000円
年会費	34,000	30,000	△ 4,000	年次会員
繰越金	160,437	125,524	△ 34,913	
繰入金	100,000	120,000	20,000	前納会計から
雑収入	163	276	113	利子
合計	1,084,600	1,060,800	△ 23,800	

2. 支出の部

項目	前年度決算額	本年度予算額	増減(△)	摘要
事務費	160,000	150,000	△ 10,000	コピー代、用紙、封筒
事業費	440,000	450,000	10,000	会報、広告代
会議費	200,000	210,000	10,000	幹事・新会員懇親会等
慶弔費	200,000	180,000	△ 20,000	祝電、結婚祝い金、弔電、香典
振込手数料	55,000	50,000	△ 5,000	各種会費等振込手数料
雑費	9,600	5,800	△ 3,800	
予備費	20,000	15,000	△ 5,000	
合計	1,084,600	1,060,800	△ 23,800	

## 平成22年度 前納会計決算書

〈収支状況〉

前年度残高	2,615,374
H22年度納入額	230,000
利子収入	1,024
一般会計へ	△ 100,000
合計	2,746,398

〈残高明細〉

種類	金額
普通預金 1	2,281,545
普通預金 2	464,853
合計	2,746,398

## 平成23年度 前納会計予算書案

〈収支状況〉

前年度残高	2,746,398
H23年度納入額	100,000
一般会計へ	120,000
合計	2,726,398

鍛神小	中の沢小	深堀小	港部小	中部小	学校名
村岡圭介	車無田	加惠田庸子	齐藤礼奈	川森綾子	新採用会員
H14	H21	H22院	H19	H21	卒年

教育大学	白尻中	日新中	潮光中	桐花中	銭亀沢中	港濱中	港岡中	大船小	磨光小	南本通小	東山小	神山小	北美原小	昭和小	昭和小	上湯川小	上湯川小	上湯川小	北日吉小	深堀小	金堀小	中島小	八幡小	学校名	
松田賢治	三浦範喜	長澤一男	佐藤幸樹	栗田秀樹	畑有文	濱地恵篤	岡利繁和	中村純子	矢原真吾	岡本尚志	山下義宏	高橋沙織	石川朋行	川瀬智健	吉田智宏	米坂晃之	品田晃宏	新谷公康	小林郁学	厚谷裕之	戸田裕之	熊倉ひとみ	転入会員		
S60	H4	S61	S59	H10	S58	H16	H15	S55	S53	H12	S56	H1	H21	S59	H20	H6	H15	H2	S51	S59	H7	H5	S58	H6	卒年

● 転入会員

桔梗小	石崎小	東岡小	旭湯川小	上湯川小	高丘小	湯川小	北日吉小	日吉が丘小	深堀小	駒場小	金堀小	柏野小	千代田小	中島小	千代ヶ岱小	高盛小	港年橋小	万年橋小	八幡小	北星小	中部小	あさひ小	青柳小	弥生小	学校名
古谷賢一	三津橋	松浦学	小野寺徹	寺川希光	野村頼光	宇美直美	山田千春	奥野千道	佐藤正徳	山岸一実	吉田明子	酒谷秀樹	須田とも子	吉田好美	佐々木勝人	外崎玲子	中山雅史	土野光史	酒井朋子	小林久美子	藤本敏典	工藤春佳	寺澤朋子	永井朋子	学校幹事
19	3	5	13	8	13	10	15	17	14	13	13	15	8	10	4	9	15	4	12	5	10	12	10	9	会員数

● 各学校幹事

尾札部中	恵山小	北田中	亀田中	戸倉中	本通小	本通小	神山小	菊地功	高井太	三星智郎	瀧澤佑太	小田優太	小田理美	田邊志保	学校名
H16院	H21	H22	H20	H20院	H21	H18	H23	H16院	H21	H22	H20	H21	H18	H23	学校幹事

桔梗中	赤川中	銭亀沢中	鱒川中	亀尾小	旭岡中	戸倉中	湯川中	深堀中	的場中	光成中	港成中	大川中	五稜中	凌雲中	宇賀の浦中	潮見中	西船中	大船小	白尻小	磨光小	榎法華小	えさん小	日新小	戸井西小	南本通小	本通小	東山小	神山小	鍛法華小	北美原小	中山小	赤川小	亀田小	昭和小	北昭和小	中の沢小
村井秀行	藤本大	後藤健	岩館敏	菅原圭一	近藤基	本吉幸	長村幸	小阪弘	櫻井純	渡辺也	菅政也	辻達朗	黒川尚	片桐博	西本紀	高橋美	太田賢	中村純	佐藤礼	矢原真	雨谷和	梶山博	橋田大	須藤政	岡本尚	小林優	中山志	田邊志	高野圭	赤川圭	亀田光	昭和田	北昭和	中の沢		
12	15	11	7	9	5	12	12	13	4	9	4	7	12	7	11	6	6	6	7	3	4	5	3	8	15	20	14	17	18	11	10	15	22	13	20	



分掌	氏名
総務部	○佐々木理之・内木竜
庶務部	○梶利之・中山央
広報部	○杉山裕規・子原恵美 ○室本紀恵子・土谷昭平
会計部	○佐々木理之・本吉有麻

函館市教育委員	教育大	附属函館中	附属函館小	附属函館幼	はこだて幼	白尻中	尾札部中	榎法華中	恵山中	日新中	潮光中	北通中	本通中	桐花中	亀田中
小濱誠	松浦俊彦	大山裕之	伊多波理	清水裕美	戸澤裕美	輪島陽子	菊地功	相澤光毅	吉本佑	長澤男	塚本亨	本谷聡	山家太	磯波理恵	長田洋幸
8	9	13	14	4	1	7	6	8	7	8	6	12	20	8	19

● 支部事務局体制 (戸倉中学校)

○ 部長

夕陽会函館市支部規約

第一条 この会は、北海道教育大学夕陽会函館市支部と称する。(夕陽会函館市支部と略称する。)

第二条 この会の事務局は、支部長の勤務先に置く。

第三条 この会は夕陽会会則に基づき、支部会員相互の親睦と発展を図ると共に、地域の教育・文化の進展に寄与することを目的とする。

第四条 この会は、その目的を達成するため次のことを行う。

一、総会

二、懇親会

三、会員の慶弔に関すること

四、支部会報の発行

五、教育研究諸会合

六、その他必要と認められるもの

第五条 この会は、函館市及びその近郊に在住する次の各号に該当する者をもって会員とする。

一、北海道函館師範学校卒業生

二、北海道第二師範学校卒業生

三、北海道学芸大学函館分校卒業生及び修了生

四、北海道教育大学函館分校卒業生及び修了生

五、北海道教育大学函館校卒業生及び大学院修了生

六、母校に在学した者(講習科、養成所も含む)

第六条 この会の役員は次のように定める。

一、役員

(一) 支部長 一名

(二) 副支部長 二名

(三) 幹事長 一名

(四) 副幹事長 若干名

(五) 幹事 若干名

(六) 監査委員 三名

二、選出方法 (一) 支部長、監査委員は選考委員により選考し、総会の承認を求めらる。

(二) 副支部長、幹事長、副幹事長は支部長が委嘱し、総会の承認を求めらる。

(三) 幹事は、勤務先その他ブロック毎に一名を選出し、支部長が委嘱する。

三、任務

(一) 支部長は、支部を代表し会務を統理する。

(二) 副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故ある時はこれを代行する。

(三) 幹事長は、支部長の命を受け、会務を処理する。

(四) 副幹事長は、幹事長を補佐する。

(五) 幹事は、勤務先その他ブロックを代表し、会務を分担する。

(六) 監査委員は、支部の会務及び会計を監査する。

四、任期

(一) 支部長、副支部長、監査委員は二年とする。

(二) 幹事長、副幹事長、幹事は一年とする。

(三) 欠員による補充役員は、前任者の残任期間とする。

(四) 再任は妨げない。

第七条 この会は、顧問を若干名置くことができる。

一、顧問は、この会の重要な事項に

関し支部長の諮問に応じる。

二、顧問は、支部長が委嘱する。

第八条 この会の会議は、次のように定める。

一、総会

(一) 定期総会は、年一回支部長が招集し、会務、会計、規約、役員、その他の議題を審議する。

(二) 臨時総会は、必要に応じて支部長が招集し、定期総会に準じて行う。

二、幹事会

必要に応じて支部長が招集し、この会の基本的な事項について協議し遂行する。

三、その他、必要とするもの。

第九条 この会の収入は、次の通りとする。

一、会費

(一) 通常会費は、年額一、〇〇〇円とする。

(二) 前納会費は、別途規定を設ける。

二、寄附金

三、事業による収益金

四、その他

第十条 この会の支出は、次の通りとする。

一、会議その他事業費一般

二、懇親会その他会合費

三、慶弔費

(一) 会員の結婚は祝儀五、〇〇〇円と祝電

(二) 会員の受賞、栄進等は祝電

(三) 会員の死亡は香典五、〇〇〇円と弔電

(四) その他必要なものは、支部長、副支部長、幹事長の協議による。

第十一条 この会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。

付則

平成五年四月十七日 改正

平成九年四月十九日 改正

平成十三年四月二十一日 改正

平成十八年四月十五日 改正

事務局だより

○ 函館市支部会報八十号ができましたのでお届けいたします。

本会報の発行に際し、ご多用中にもかかわらず、原稿依頼に際し快くお引き受けくださった方々に感謝申し上げます。

○ 去る五月十二日(木)、本部より橋田恭一会長、奥崎敏之幹事長の臨席を賜り、「新会員・転入会員・幹事懇親会」をホテル法華クラブ函館で開催いたしました。橋田会長によるご祝辞、川島孝夫顧問による祝杯で懇親会が始まりました。

新会員、転入会員の方お一人お一人から、近況報告もかねてご挨拶いただきました。その後、本支部の小山内顧問より新会員の方々に励ましのお言葉があり、非常に温かい雰囲気の中で時間を忘れるほど盛会の内に終了することができました。ご参加いただいた全ての方々に、改めて感謝申し上げます。

○ 各学校幹事の皆様へ

● 今年度の各学校の会員名簿作成、本部総会・大懇親会の参加者名簿の提出、会費・大懇親会費の納入、本部会報の配布等、ご協力に感謝申し上げます。

● 来春二月十七日(金)、例年同様支部懇親会を予定しております。その節はよろしくお願いたします。

○ 会員の慶弔がございましたら、事務局の佐々木までご一報ください。

夕陽会函館市支部 事務局 〒042-0953 函館市戸倉町二六番一号 電話番号(〇一三八)五九一二四二 FAX番号(〇一三八)五九一二四二